

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

都道府県名・政令市名【愛媛県】

学校名【宇和特別支援学校（聴覚障がい部門・肢体不自由部門）】

1 実践テーマ	I・III・V
2 実施対象者 (学年・人数)	本校 聴覚障がい部門 幼児児童生徒 6名 本校 肢体不自由部門 児童生徒 17名 保護者3名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 行事名「オリンピック・パラリンピック交流会」
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピック教育を通じて、子供たちがスポーツの魅力を感じ、意欲的にスポーツに取り組める環境の構築、国際・異文化理解、共生社会への理解等を推進する。
5 取組内容	<p>1 交流会に向けた事前学習 東京大会についての調べ学習や交流会での発表練習、交流会で使用する手旗の作成など、児童生徒の実態に応じて各部・学級で取り組んだ。</p>  <p>2 オリンピック・パラリンピック交流会 愛媛車椅子バスケットボールクラブの選手2名を招いて、児童生徒との交流会を開催した。</p> <p>(1) 模擬開会式 実際のオリンピック・パラリンピックを模して開会式を行った。入場行進、オリンピック・パラリンピック旗掲揚、聖火リレー、聖火点灯ののち、「オリンピック・パラリンピック交流会」の開会宣言を行った。入場行進では、児童生徒が自作した手旗を持って入場した。</p>   <p>(2) 生徒発表 中学部生徒が、来年開催される東京オリンピック・パラリンピックのエンブレム、競技、メダル等、自分が興味を持ったことについて事前に調べ、まとめたことを全校の前で発表した。</p> 

	<p>(3) 講演及びスポーツ体験</p> <p>愛媛車椅子バスケットボールクラブの2名の選手から、車椅子バスケットボールや障がい者スポーツについて教えていただき、スポーツの楽しさを話していただいた。その後、車椅子バスケットボールの体験を行った。選手に車椅子の操作や競技について紹介していただいたあと、4人の児童生徒が代表で車椅子バスケットボールの競技用車椅子に乗り、自走したりドリブルやシュートに挑戦したりして車椅子バスケットボールを体感した。その他の児童生徒は観戦し、迫力のある車椅子バスケットボールを応援して楽しんだ。</p>  <p>(4) 模擬閉会式</p> <p>開会式同様、オリンピック・パラリンピックを模して閉会式を行い、交流会を終了した。</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>実際のオリンピック・パラリンピックの開・開会式を模して行ったり、調べ学習の発表をしたりする体験を通してオリンピック・パラリンピックのことを学習することができ、来年の東京大会に向けて興味・関心が深まった。また、パラスポーツの選手に来ていただき、障がい者スポーツについて話していただいたり、迫力あるプレイを見たり体験させていただいたりすることで、スポーツの魅力を体感でき、障がい者スポーツやスポーツそのものに興味を持つきっかけとなった。</p>
<p>7 実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>来年度東京開催のオリンピック・パラリンピックについて事前学習や調べ学習を行って交流会に臨んだほか、本番を模した開会式、閉会式を体験することでオリンピック・パラリンピックへのイメージや期待感を持てるように工夫した。また、交流会では、車椅子バスケットボールの体験をさせていただくことで、障がい者スポーツに触れ、その楽しさを感じることができるようにした。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>車椅子に乗って体験できる児童生徒が一部に限られてしまった。全員が体験できるような活動の場を実態に応じて工夫することで、より成果が期待できる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>今回の交流会をきっかけとして、様々なスポーツに興味を持ったり、来年のオリンピック・パラリンピックを楽しく観戦したりできるよう、今後も教育活動の中でスポーツに触れたり行ったりする機会を設けていきたい。</p>

